

科学技術の潮流

JST 研究開発戦略センター

⑱

台頭する中国系

コンピュータアーキテクチャーは、IC 野の日本人の貢献に

キテクチャーは、IC 野の日本人の貢献に

T システムの心臓部で

あるコンピュータを

低消費電力かつ高速に

実現する設計手法を研

究する学問分野であ

る。ところが、近年こ

の分野での研究発表の

場を見渡すと、日本の

存在感がほとんどない

と感じられる。今回

は、2019年6月に

米国アリゾナ州フェニ

ックスで開催されたコ

ンピューターアーキテ

クチャーに関する国際

シンポジウム「ISC

「A」を例に、ICT 分野での日本人の貢献に属の筆頭著者1人と、共同著者として1人の

活発な発表期待

ISC A は論文の採

計2人のみである。

ISC A は論文の採

計2人のみである。

ISC A は論文の採

計2人のみである。

ISC A は論文の採

計2人のみである。

ISC A は論文の採

計2人のみである。

ISC A は論文の採

計2人のみである。

ISC A は論文の採

計2人のみである。

ISC A は論文の採

計2人のみである。

ISC A は論文の採

計2人のみである。

ISC A は論文の採

計2人のみである。

ISC A は論文の採

計2人のみである。



科学技術振興機構(JST) 研究開発戦略センター上席フェロー 木村 康則

東京工業大学修士課程修了後、富士通株式会社入社。第5世代コンピュータ、京コンピュータの開発を経て、米国富士通研究所CEOとしてシリコンバレーにて研究開発や事業化に従事。スタンフォード大学客員研究員、東京大学客員教授などを歴任。17年より現職(博士(工学))。

日本人の存在感示せ

学会の招待講演は分野の潮流を映す鏡 (ISC Aにて葦原撮影)

FCRC 2019 Turing Lecture

June 23, 5:15pm

Geoffrey Hinton and Yann LeCun will deliver the Turing Lecture

The recipients of the 2018 ACM A.M. Turing Award are Yoshua Bengio of the University of Montreal, Geoffrey Hinton of Google, and Yann LeCun of New York University.



に入れば、投稿論文の傾向から今後数年の技術動向が分かる。現状は残念ながら、プログラム委員74人のうち日本人は1人にすぎない。

学会は最新技術の発表の場であるとともに産学交流の場である。

も、各セッションの参加者数や議論の内容から、注目されているテーマが分かる。今回のISC Aにしても、招待講演のテーマ(ニューラルネットワークの歴史と将来)、セッション構成の特徴(「量州で開催されるこの子」や「AIを使ったアーキテクチャー改善」の新設など、投稿から始め、各種プログラムの決定されることに期待したい。(金曜日掲載)